



一般社団法人
日本ヘルスケア歯科学会
事務局 東京都文京区関口1-45-15-104
Tel. 03-5227-3716
Fax. 03-3260-4906
URL <http://www.healthcare.gr.jp>
E-mail: center@healthcare.gr.jp
編集代表 林 浩司
編集制作 有限会社 秋 編集事務所

| | | |
|--------|-------------------|---------|
| 学会入会金 | 歯科医師 | 5,000円 |
| | その他 | 3,000円 |
| 学会年会費 | 歯科医師 | 12,000円 |
| | その他 | 3,000円 |
| 郵便振替口座 | 00190-7-407895 | |
| 名義 | 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会 | |
| 銀行振込口座 | 三菱UFJ銀行 江戸川橋支店 | |
| | 普 0051809 | |
| 名義 | 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会 | |

CONTENTS

| | |
|---|---------------------------------|
| 巻頭 身近ないくつかの変化と新しいかたちでのヘルスケアミーティング p.1 | 新入会音信 p.10 |
| 第6期オピニオンメンバー(代議員)候補者の推薦受付 ... p.2 | 書評 p.11 |
| 認定歯科衛生士更新ポイントのお知らせ p.2 | オンラインのススメ p.12 |
| ウイステリアの動作環境を整えるための基礎知識 p.3 | ウェビナー告知板 p.13 |
| ウェビナー開催報告 p.4 | ヘルスケアフォーラム p.14 |
| Healthcare bibliography p.10 | ヘルスケアミーティング2020案内 p.15-16 |

催しものご案内

- | | |
|--|--|
| ①ヘルスケア Web セミナー 日時: 2020年10月25日 9:00~ 内容: 医院でCRASPを実践しよう | ④ヘルスケア オンラインサロン 日時: 2020年11月10日 20:00~ 内容: マイクの部屋へようこそ! |
| ②ヘルスケア オンラインサロン 日時: 2020年10月27日 20:00~ 内容: 情報と資料整理どうしていますか? | ⑤ヘルスケア オンラインサロン 日時: 2020年11月17日 20:00~ 内容: 医療における情報の非対称性 |
| ③ヘルスケア Web セミナー 日時: 2020年10月28日 20:00~ 内容: 「ニコチンのせいだけじゃないの??」依存症について学び、禁煙支援に応用しよう! | ⑥ヘルスケアミーティング2020 日時: 2020年11月22日 会場: KFC Hall & Rooms Room 115 およびオンライン |

重要なご案内

- 以下の同封物をご確認ください
- 2021年度会費振込用紙
当学会の会計年度は1月から12月までです。2021年度会費の振込用紙を同封いたしましたので、お近くの郵便局からお早めにお振り込みくださいますようお願い申し上げます。
なお、口座振替をお申し込み済みの方は、10月27日が引き落とし日となります。ご確認ください。
 - 選挙告知 案内
 - HCM2020 案内



身近ないくつかの変化と新しいかたちでのヘルスケアミーティング

丸山和久 (コアメンバー)

新型コロナウイルス感染症は大きく社会のあり方を変え、働き方や仕事の内容が一変した人も多いうです。我々のふだんの仕事はリモートで行えるものではありませんが、一時心配されていたほど歯科関連での感染の報告などが無いことには安堵しています。従前よりは感染対策に配慮しつつ、今後も診療を行い続けることになると思われます。各チェアで患者さんの入れ替えに時間がかかるようになり、待合室の混み具合を絶えず大いに気にかけ、患者さんとの会話では換気や口腔外バキュームの影響でマスクやシールド越しにいつそう大きな声を意識したりと、多かれ少なかれその辺の事情は皆さんの診療所でも同じだと思われます。前号の高橋啓さんが呼びかけた通り、しなやかに乗り越えていきたいもの

です。さて、この半年間どうしても目の前のことに気を取られがちだったと思いますが、そろそろ少し視線を上げていきませんか。

日本ヘルスケア歯科学会としては、その日々の活動を変化させてきました。いくつかの事業が中止になったことは残念ですし、延期のままになっている事業があるのも気がかりです。多くの仲間が集う場はまだなかなか設定できないので、WEBが中心になっています。毎週火曜日に開催されているオンラインサロンでは様々なテーマで情報交換が行われており、月2~3回のペースで行われているWEBセミナーは新しい知見や自分の診療所を見直すヒントが得られる場になっていると思います。ぜひ学会ホームページをチェックしてみてください。ちなみにオ

オンラインサロンでは基本のご自身含めて参加者の顔が見え、WEBセミナーでは主にプレゼン画面と講師の顔が見えます。

さて、そしていよいよヘルスケアミーティングです。当初予定されていた11月22日（日）の午後に小規模の会場とオンライン聴講のハイブリッド型で行います（会場が秋葉原から両国に変更になっています。ご注意ください）。昨年の台風19号の影響での短縮開催に続いての変則的な開催になりますが、ぜひ、オンラインでご参加ください。例年ならば1年ぶり、数年ぶりにお目にかかるメンバーと歓談し、新たなメンバーと出会える喜びを感じるところ、今年はそうはいきません。ただ我々が日頃取り組んでいる歯周治療に関しての新しいテーマで、関野愉先生（日本歯科大学）、久保庭雅恵先生（大阪大学）の両先生からのお話を聴ける貴重な機会になります。もしかしたら日

常の臨床に変化が生じることになるかもしれません。また毎年秋の連休に行われる関係で、ヘルスケアミーティングになかなか参加できなかった方も、もしかしたら今年は参加できるかもしれません。壇上からの語りかけに刺激を受けることが、今年はオンラインリモートになるわけですが、久しぶりのヘルスケアにぜひ触れていただければ、と思います。

さらにこの年末で、現在のオピニオンメンバー、コアメンバーは任期を終え、改選になります。さいわいオンラインでの会議が身近になったことで、学会の活動により多くの人が直接関わることが可能になりました。学会の運営には今後いくつかの変化があるはずです。

さて、皆さんのコロナ前後の身近な変化はなんですか。日々の臨床で感じる変化はありますか。またそんなことを話し合みましょう。



第6期オピニオンメンバー（代議員）候補者の推薦（自薦・他薦）を受け付けます

選挙管理委員会（委員長 田中正大）

学会の第5期の代議員（通称オピニオンメンバー）が、令和2年末日をもって任期満了となることに伴い、定款8条の代議員選挙規定に基づき、次期代議員を選出します。別表の日程でオピニオンメンバー選挙を行います。

すでにホームページ上で、選挙告示と次期代議員立候補者（自薦・他薦）の募集を告知していますが、立候補締切は11月13日（金）です。自薦・他薦の方法は、代議員選挙規定の4～7項を参照してください。なお、現在の第5期オピニオンメンバーに対しては、選挙管理委員会は留任の意思を尋ねます。

なお、オピニオンメンバー選挙の投票は、ニュースレター次号（vol.23 no.5）に立候補者名簿を同封します。立候補者名簿に不信任の印を付ける方法で、候補者ごとに、会員の信任投票を求めますが、この信任投票は、不信任の意思表示がない場合は、規定（代議員選挙規定の3項）により信任とみなします。不信任が、会員の1割を超えた場合には、当該立候補者は信任されません。

【別表】

| | |
|--------|--|
| 10月20日 | 選挙告示（ホームページに掲載） |
| 10月第5週 | 同（ニュースレター vol.23 no.4に掲載） 第6期代議員立候補者受付（自薦・他薦） |
| 11月13日 | 立候補者受付締切 |
| 12月 | 立候補者名簿送付（ニュースレター vol.23 no.5に同封） |

認定歯科衛生士 更新ポイントについて お知らせ

認定歯科衛生士は5年間で所定のポイント取得をもって更新されますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年は対象となるシンポジウム等の中止によりポイントが取得できない状況となっています。そのため、更新条件「5年で70ポイント」を、

「5年で50ポイント」とします（更新期間に2020年を含む場合に適用）。

また、今年のヘルスケアミーティング2020（11月22日）に参加された場合は、20ポイントとします（リアル参加／オンライン参加どちらでも可）。

※診療所単位で参加申込される場合は、別途、参加確認用フォームにて氏名の登録が必要です。



ウイステリアの動作環境を整えるための基礎知識

森 一弘 (アクセス代表)



2020年11月現在、ウイステリアのバージョンは5.1です。次期バージョンのリリースも迫っていますが、このウイステリアやCRASPを使用するためのFileMaker ProやFileMaker Go (iPad用)は現在最新バージョンのver.19です。加えてパソコンなど端末機も必要になります。今回は「ウイステリアの動作環境を整えるための基礎知識」と題して最低限の必要事項をまとめてみましょう。

■ マシンと OS ■

1. Windows マシン (Windows タブレット含む)

現在のWindowsの最新バージョンはver.10です。ごく一般的にパソコンを購入する場合は、Windows10のHome Editionなのですが、FileMaker Pro19ではWindows10 Pro Editionでなければなりません。その点に注意してください。ハードウェアの条件としては、Intel Core i3以上で、メモリ4GB以上はあった方が無難でしょう。ただし、Windowsマシンの場合はレセコンやデジタルレントゲンのソフトの同居が多く、その場合は少しでも性能は上げてください。

2. Mac マシン

現在のMac OSの最新バージョンはOS10.15 (Catalina)ですが、ひとつ前のOS10.14 (Mojave)までが対応となります。WindowsのようなHomeやProの違いは存在しないので、OSのバージョンのみ気をつけてください。ハードウェアの条件としては、販売されているモデルの最低ランクでも大丈夫です。

3. iPad

iOS13.2以上なのですが、ハードウェアは、10.2インチiPad (第7世代)、12.9インチiPad Pro、11インチiPad Pro、10.5インチiPad Pro、9.7インチiPad Pro、iPad (第6世代)、iPad (第5世代)、iPad mini (第5世代)、iPad mini 4、iPad Air (第3世代)、iPad Air 2が条件となっています。

■ アプリケーション ■

4. FileMaker の購入方法

FileMaker Pro19の1ライセンスの単価は税抜57,600円です。ネットワークで複数台使う場合は、その分のライセンスが必要となるので、単価×ライセンス数が必要費用になります。購入先は、Claris社かApple社のホームページをお勧めしますが、ネットワークでの複数ライセンス購入の場合はClaris社のみの対応となっています。ダウンロード版でのご購入をお勧めします。

5. FileMaker の複雑なライセンスについて

FileMakerのライセンスについては、とにかく年々複雑になっ

ており、この紙面上ではあまり深く触れないことにしますが、重要な点をかいつまんで、以下の5-1,2の項目で説明します。

5-1. ネットワーク構成でFileMaker Proをサーバーにできなくなる

現在、多くのユーザーの方々はネットワークでウイステリアを使っておられると思います。サーバー役1台+子機5台以下の場合は、FileMaker Proをサーバーとしてネットワークを組むことができます。ただこの仕様が近々使えなくなり、2台以上でネットワークを組む場合、かならずFileMaker Serverというサーバー専用のFileMakerが必要になります。ややこしいのは、このFileMaker Serverは単品で販売されておらず、FileMaker Pro5台以上をボリュームライセンス購入したときに限り、FileMaker Serverが付属してくる形態になっており、税別57,600円×5台購入が必須になっています。2020年11月現在は、まだFileMaker Proをサーバーにできますが、近い将来にそれができなくなるとClaris社が宣言していますので、注意が必要です。

5-2. FileMakerの年間ライセンス・永続ライセンスについて

Adobe社やMicrosoft社は、最近サブスクリプション契約という言わばソフトの「レンタル契約」の形態をとっています。FileMakerもその流れで、年間ライセンス契約を強く推奨しており、Claris社のホームページでは、年間ライセンス契約へ誘導するような仕組みになっています。また、永続ライセンス契約(従来の買い取り契約)先はともわかりにくい場所にあります。どちらがいいかは考え方にもよりますが、個人的には永続ライセンス契約をお勧めします。

以上、「ウイステリアの動作環境を整えるための基礎知識」として、今後新規導入予定の方、リニューアル導入の方、ご参考になさってください。特にFileMakerのライセンスについては、本当はもっとお伝えしておきたいことがあるのですが、これ以上紙面上で説明すると混乱するばかりなので控えました。

FileMakerのライセンス契約をどうするかは、各医院の状況によってお勧めの仕方が変わってきます。1台で使うかネットワークか、何台のネットワークか、今後端末を増やす予定があるか、タブレットを導入するか、などなど考慮する必要があります。正直なところ、FileMakerのご購入に関しても専門家に相談してアドバイスを受けた方がいいと思います。

また、FileMaker Serverがネットワークで必須条件となってしまった場合は、FileMaker Proをサーバーとする場合の設定とまったく別物です。専門家に任せることを強くお勧めします。



☆ アクセス

〒842-0033 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13
TEL.0952-51-1776 · FAX.0952-51-1767
携帯 090-1920-7894
URL <https://www.access-dental.jp/>
URL <http://www.access-pcdoc.jp>
E-mail kazu@access-pcdoc.com

ウェビナー報告

ヘルスケアオンラインサロン

第7回 2020年9月1日(火)21:00～ 運営：寺岡
ヘルスケア診療所と矯正専門医の連携(ホスト：千草隆治)

矯正治療に対する熱意に参加者は圧倒



第7回目は千草隆治さんがホストを務め「ヘルスケア診療所と矯正専門医の連携」というテーマで行われました。

筆者の医院では、矯正治療が必要な患者は近隣の矯正専門医(日本ヘルスケア歯科学会会員)にすべて依頼し、何かあればメールやLINEで連携を図りながら日々診療を行っています。当学会の他の診療所では、矯正治療をどうされているのか興味があり参加しました。

最初に千草さんから本日の趣旨を説明され、連携している矯正専門医の有松稔晃さんを紹介されました。有松さんは2015年ヘルスケアミーティング発表や2016、2017年に学会誌に症例報告など、当学会にも関わりの深い方です。矯正専門医の大変貴重なご意見を伺える機会となり、そのなかでヘルスケア歯科診療と矯正治療の相性についてお話をいただきました。特に継続的な資料を採り経過を診ていくこと、変化を追って予測して治療にあたることは当学会のコンセプトに合致するところでした。

その後、参加者から忌憚のない意見や質問があり、有松さんがZoomの画面共有を使って様々なケースを紹介され、その矯正治療に対する熱意に参加者は圧倒されました。

今回は、乳幼児の頃から定期的に来院される患者との信頼関係の中で、矯正治療を含め口腔外科、歯内療法、歯周病専門医などに依頼しなければならないとき、また逆に歯科だけでなく医科専門医から紹介された場合の対応について(いわゆるイン

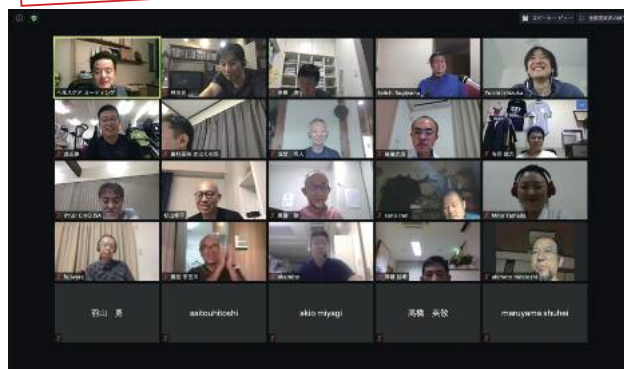
ターディシプリナリーアプローチや他職種連携)は日々悩みや不安もあり、今後専門性のある治療や地域医療とどのように関わっていけるのか、大変考えさせられる内容でした。

(林 浩司)

第8回 2020年9月8日(火)21:00～ 運営：古市
イエテボリ大学カリオロジー科に留学中の石塚先生に聞く
～北欧と日本は何が違いますか～

(ホスト：杉山精一 ゲスト：石塚洋一)

スウェーデンの石塚先生とオンラインで
1時間半を超える意見交換



第8回目は杉山精一さんがホストを務め、ゲストとしてスウェーデンからイエテボリ大学カリオロジー科に留学中の石塚洋一先生に参加していただく新しい試みのオンラインサロンになりました。

イエテボリ大学といえば、著名なリンデ教授やアクセルソン教授、また岡本浩先生や弘岡秀明先生などが在籍した大学であり、ぜひその実情などをお聞きしたいと思い参加しました。

最初に杉山さんから、本日のゲスト石塚さんとの出会いから現在に至る関係にお話がありました。本当はORCAでお酒でも飲みながら話したかったところだったようですが、新型コロナウイルス感染症の影響でお会いできなくなり、それならばZoomを使って広く会員と忌憚のない情報交換をしたいという趣旨で、このサロンの企画になりました。

スウェーデンからオンラインで参加の石塚洋一先生がスライドを使って、まずスウェーデンの文化、国民性について、またイエテボリ大学の教育、歯学部・大学院の制度、実際の授業や診療風景などについて大変興味深い内容を説明されました。日本との違いについて、スウェーデン語で『ラーゴム(ほどよい)』という言葉を教えていただきました。また、『フィーカ』というコーヒープレイクの習慣についても紹介していただきました。コーヒープレイクをとりながら効率の良い仕事をし、ワークライフバランスを重視し、フラットな上下関係で仕事をしているスウェーデンの国民性に、日々歯科医師会の雑務に追われている筆者はうらやましく思いました。

ホストの杉山さんは、石塚さんのスライドの途中と最後に質疑応答の時間をとってくださいました。参加者からは活発な質問があり、スウェーデン人の口腔環境について、日本の歯学部とスウェーデンの大学の教育の違い、また診療に関しては、資料採得について、ブラッシング指導やフッ化物利用などの状況、歯科医師と歯科衛生士の関係、メンテナンスについてなど多岐にわたる興味深い意見交換ができました。

スウェーデンに居る石塚先生とオンラインという便利なツール使ってリアルタイムで1時間半を超える意見交換は、盛会のうちに終了となりました。普段聞くことのできないお話も多く、大変有意義で貴重な時間を過ごすことができました。

(林 浩司)

第9回 2020年9月15日(火)21:00～ 運営：杉山(修)

皆何使っている？ おすすめ機械、器材について話そう

(ホスト：高橋啓)

一本の歯を残すために、こだわりの特別な工夫



ヘルスケア歯科診療といえば、う蝕や歯周病の重症化予防の方がメインのように思われていますが、悪化してしまった場合の歯科治療の共有も大切です。一度修復されてしまった歯は二次う蝕へのスパイラルにより最終的には欠損になってしまうことは周知の如くです。しかし一本の歯を残すために、こだわり(臨床への興味という意味で)の強いヘルスケアの会員の方々は特別な工夫をされて治療されていると思います。そうした日々の臨床のヒントがあればと思います。

今回は参加者からなるべく情報を広く共有したいという意図で、いくつかのグループに分かれて10分ほどディスカッションした後、全体で各グループの報告をするという形式をとりました。

前半はレジン充填、後半はエンドについて話し合いをし、それぞれ機材は何を使っているのか、どういう術式で治療しているのか、お互いに報告しあいましたが、そのなかで話題が上がったことを二つ取り上げました。一つは大井孝友さんから、前歯の一歯中間欠損などの場合に両隣接の支台歯は削合せず、ボン

ティックをレジンでダイレクトボンディングするという方法です。画面共有で30年間維持されている症例を提示していただきましたが、参加者からは多数の反響がありました。二つめは斉藤 仁さんから、破折根をスーパーボンドでポストごと接着する方法です。破折部のデブライトメントや出血のコントロールなど多くの質疑応答がありました。

最後に、今回のホストでありWeb調整担当責任者でもある高橋啓さんから、ぜひお二人の治療方法を別の機会に(webinarなどで)詳しい内容を講演して欲しいとのお願いがあり、盛会の内に終了となりました。(林 浩司)

第10回 2020年9月29日(火)21:00～ 運営：丸山(修)

コミュニケーションの原理とコツ(ホスト：渡辺勝)

自分が変われば相手も変わる



第10回目は渡辺勝さんがホストを務め、「コミュニケーションの原理とコツ」というテーマで行われました。

渡辺さんといえば「禁煙支援ガイドブック」の著者であり、日々患者やスタッフとのコミュニケーションについて悩んでいる自分にとっては参考になる話があるのではと思います。サロンに参加しました。

まず、進行役の丸山修平さんから参加者全員に、「患者やスタッフとのコミュニケーションについて悩みがありますか」という質問が投げかけられました。全員がコミュニケーションについて苦労されたことがあるとのことで、具体的にどのような問題点があるのか抽出しました。

その後、その問題点についていくつかのグループに分かれ少人数でディスカッションしたのち、全体で集まって報告しホストが様々な意見をまとめました。患者についての悩みは「要望が強い」「話が長い」「伝えたつもりが伝わっていない」「外国人で文化の違いによる意思疎通がとれない」などの悩みについてそれぞれ対応策を考えました。次にスタッフとのコミュニケーションについて、注意するタイミングや新人教育の問題など参加者から活発な意見が出ました。

最後に、渡辺さんからまとめとして参加者にメッセージをい

いただきました。それは「SOSの法則」というもので「そう・思えば・そう」ということです。普段、自分たちは一部の患者やスタッフにネガティブな固定観念で考えがちですが、相手は皆違う思いで生きています～良いところに目を向けて接してください～相手を変えることはできませんが自分の思いは変えられます～自分が変われば相手も変わります～との話でした。自分自身、大変腑に落ちる言葉で明日から実践してみようと思いました。(林 浩司)

第11回 2020年10月6日(火)20:00～ 運営：田中(勝)
スタッフが辞めない歯科医院とは？

(ホスト：林 浩司 ゲスト：沼澤秀之)

『スタッフが辞めない歯科医院の作り方』の著者・沼澤秀之さんをゲストに



第11回は林 浩司さんがホストを務め、『スタッフが辞めない歯科医院の作り方』(クインテッセンス出版2019年12月刊)の著者である沼澤秀之さんをゲストに迎えて『スタッフが辞めない歯科医院とは?』をテーマに行われました。

ヘルスケア診療に限らず歯科医療はスタッフがいてこそ、より質の高い医療を提供できると考えています。とは言っても、勤務医の私はスタッフを雇用したことがありません。院長になってみないとわからないことが多いと思います。しかし今のうちからスタッフが長く働ける環境を作るヒントを知っていれば、院長になったときに役立つと思います、参加しました。

最初に林さんより、日々のヘルスケア診療ではスタッフの役割が重要で、長く勤めてくれるスタッフが医院の財産であると感じるようになったというお話がありました。そこで長く勤められる医院になるにはどうしたらいいか、二つのテーマについて参加者同士で意見交換を行い、沼澤さんから医院での経験談とともにアドバイスをいただきました。

一つ目のテーマは「長く働き続けられる歯科医院はどんな特徴があるのだろうか?」です。

このなかで印象的だったのは、診療をギリギリの人数で行うと、1人退職したとき、残りのスタッフの負担が増し、疲れて

しまう、有給も取りづらくなる、といった負のサイクルに陥ってしまう。そのため1人もしくは2人余裕を持って採用したほうが退職時のショックを減らせるとのこと。労働条件に関しては、歯科医院も企業体であり、一般企業に劣らないよう気をつける必要があるとのことでした。

二つ目のテーマは「スタッフが満足する歯科医院はどんな特徴だろうか?」について話しました。スタッフの満足度やニーズは人によって様々なため、一概に答えはないが、沼澤デンタルクリニックでは院長がスタッフ一人ひとりと面談し、そのとき出てきた不満の一つひとつ着実に解決していくことが、働きやすい環境につながっているとのことでした。

話が盛り上がり、予定時間を30分も過ぎて、終了となりました。

今回のサロンを通じて、ヘルスケア診療はスタッフが長く働いてくれるからこそできる医院の文化であり、それを実現するためには労働条件だけでなく、様々な配慮や工夫をなされていることを学びました。(杉山修平)

第12回 2020年10月13日(火)20:00～ 運営：河野(雄)
歯科医院の「省力化」について考えてみませんか？

(ホスト：中本知之 ゲスト：藤本靖貴・木山亮太)

できることから少しずつ進める院内のペーパーレス化

本日のゲスト

岐阜県土岐市 リーフ総合歯科
 院長 藤本靖貴先生

医療法人LSC
 マネージャー 木山亮太さん

「サブカルテのペーパーレス化」

はじめに中本知之さんからの問題提起として、開業年数が経つにつれ物が増え保管場所がなくなり、特に年々増え続けるカルテの保管に関してはスタッフからもクレームがあって悩んでいた、そうした膨大なカルテのスペース減少を考えペーパーレス化を模索していましたと、口火が切られました。

そうした経緯で、すでにペーパーレス化を実践している藤本靖貴先生(リーフ総合歯科院長)と木山亮太さん(同医療法人LSC マネージャー)に相談したことが大変参考になったとのこと、今回のサロンにゲストとしてお招きになりました。

筆者の医院でも開業16年が経ち、カルテの保管に関してはスタッフルームを潰してカルテ庫にしました。またプリントアウトが必要な紙ベースのカルテについて日進月歩のデジタル化に興味があったので、ぜひ聞いてみたいと思った内容でした。

まず、ホストから藤本先生と木山さんの紹介があり、藤本先生からリーフ総合歯科のプロフィール、取り組みについて紹介がありました。そのなかで膨大な量のカルテから目的のカルテを探すことや、毎日の診療分のカルテの出し入れをおこなっているスタッフの負担を考え、ペーパーレス化を進めたというお話がありました。カルテをペーパーレス化する前に取り組んだのが、サブカルテのペーパーレス化でした。事務長の木山さんと試行錯誤の上、「デンタルEノート」というアプリを使用したサブカルテのシステムを開発されました。

その後、ホストから「サブカルテに記録すべき項目は何か？」という議題を出し、参加者がいくつかのグループに分かれて相談し、その後全員で報告しました。参加者からは、歯科医師では知り得ない患者の生活習慣、様々な生活環境などの聞き取りを記録してもらいたいという意見が多く出ました。また治療経過や治療計画など治療に関する情報も大切だという意見もありました。

最後に、藤本先生から今回電子化を進めるにあたり、情報の何が本当に必要なのか整理ができたこと、今後院内のデジタル化を進める場合 Wi-Fi 環境の整備を考えた方がよいとのアドバイスをいただき、盛会のうち終了となりました。(林 浩司)



ヘルスケア Web セミナー

文責：林 浩司

第4回 2020年8月26日(水)20:00~

助成金でヘルスケア

第1弾 働き方改革推進支援助成金(勤務間インターバル導入コース) 講師：斉藤 仁

第4回目のWebセミナーは、斉藤仁副代表による「助成金でヘルスケア」というテーマでした。特に今回は、働き方改革推進支援助成金(勤務間インターバル導入コース)について詳

しい制度内容や申請方法をご教授していただきました。

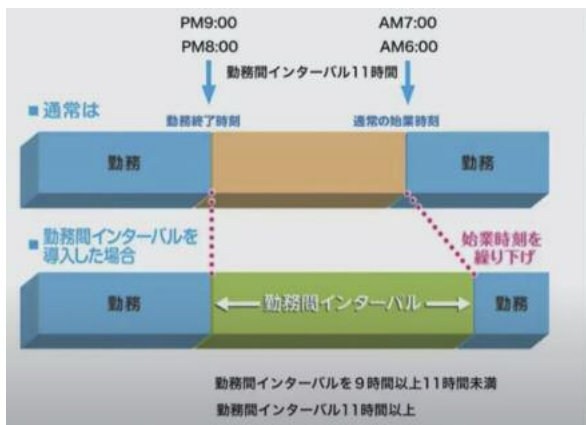
会員の院長においては、先の見えない新型コロナウイルス感染症対策の中で日々経営に不安を感じながら診療していることと思いますが、このような業者が関わらない仲間内のナマの情報は本当にありがたい機会だと思い参加しました。

筆者の医院は、歯科ディーラーからの紹介で(お互い機材を購入するメリットがあるので)いくつかの助成金を申請しましたが、ほとんど業者の紹介された社労士任せで手続きしました。当然手数料(2割)を取られます。

まず斉藤さんの提言として、院長自ら申請することのメリットをお話されました。それは①手数料が掛からないこと ②その助成金の目的が理解でき、経験することでその後の別の申請も楽にできること ③ヘルスケア診療所として大切なスタッフに働きやすい環境を整備できること、という興味深い内容で始まりました。

次に、働き方改革推進支援助成金(厚生労働省)と補助金(経済産業省)の違いについて、特にその仕組みや申請方法について知ることができ参考になりました。

その後、働き方改革推進支援助成金(勤務間インターバル導入コース)の具体的な制度内容、申請・導入に至るメリット(特にスタッフへの就業規則の整備や36協定、有給休暇取得等について労働基準法を遵守している事の福利厚生を見直す機会として)、具体的な書類の書き方や申請の時期・締め切りなどの詳細のお話も大変勉強になりました(因みに、36協定;サ



ブロック協定とは、労働基準法 36 条に基づく法定労働時間を超えた残業に関する労使協定のことです。

最後に、講師から「これらの助成金を活用して、スタッフとの信頼関係に結びつけることが大切です。ヘルスケア診療を始める、軌道に乗せる、長く継続させるために上手に助成金や補助金を利用しましょう」というメッセージでした。講演後、参加者から 10 件以上の zoom の Q & A による質疑応答で活発な意見交換があり、盛会の内にセミナーは閉会となりました。

第 5 回 2020 年 9 月 9 日(水)20:00～

NCCL(Noncarious Cervical Lesion:非う蝕性歯頸部歯質欠損)アップデート 2020 講師：黒江敏史先生



第 5 回目の Web セミナーは、黒江敏史先生による「NCCL アップデート 2020」というテーマの講演でした。

筆者の医院でも日々の診療のなかでいわゆる楔状欠損には頻繁に遭遇します。このようなう蝕が原因でない歯頸部歯質の様々な形態の欠損は NCCL (Non-carious cervical lesions) と定義され、黒江先生の詳細にわたる研究がいくつかの雑誌 (日本歯科医師会雑誌 2020 年 8 月号、ザ・クインテッセンス 2019 年 7～9 月号、歯科衛生士 2019 年 10・12 月号など) で紹介されています。

どうやらこの NCCL はアブフラクションが関係して起きる現象ではないことだと理解しましたが、曖昧な知識のまま診療を行っていました。今回はそのアップデートとして、ぜひ黒江先生の生の声を聴講したいと思い参加しました。

初めに杉山精一代表から講師紹介があり、黒江先生のセミナーが始まりました。冒頭で「NCCL はアブフラクションが原因ではなくブラッシングと歯磨剤が主原因であるとの結論に達した」という現在の考えを述べられ、このショッキングな (おそらく、日本の歯科界では未だ楔状欠損はアブフラクションが原因と思われるでしょう) 提言の根拠を多くの論文や症例を用いて、時代の推移と共に説明されました。補綴科出身の黒江先生は、アブフラクション仮説が発表された当時 (1990 年代) から積極的肯定論者で研究を行なってこられました。その後ご自身の研究や様々な論文を検証した結果 (2000 年代以降)、アブフラクション原因説に対して否定的になったとの解説があ

りました。

まとめとして、① 21 世紀になってから蓄積されてきたアブフラクションに否定的な研究結果による考察 ② 黒江先生が開業地で 10 年間に経験した NCCL の発生・進行の前向き検証の結果、咬合力の関与が認められなかったこと ③ 力に起因するトラブルが起きた歯の然るべき部位に NCCL の発生が確認できなかったことをお話されました。

最後に講師から、ヘルスケア歯科診療の特徴である長期間規格性のある資料を採得し経過を診ていくことが NCCL でも重要であるとのお話があり、その後参加者から多くの質疑応答をいただき、盛会の中セミナーは終わりました。

末筆になりますが、今回の Web セミナーは初の外部講師であり、また聴講者には会員外の方も参加されました。ご講演いただいた黒江先生の今後益々のご活躍をお祈り申し上げ、このセミナーにご協力いただいた運営メンバーの方々に御礼を申し上げ、報告と致します。



第 6 回 2020 年 9 月 23 日(水)20:00～

カリエスマネジメントに必要なフッ化物の知識

講師：杉山精一



第 6 回目の Web セミナーは、杉山精一代表による「カリエスマネジメントに必要なフッ化物の知識」というテーマでおこなわれました。カリエスマネジメントに関しては、第 1 回は ICDAS、第 2 回は CRASP、第 3 回は臨床例から実際のカリエスマネジメントについて学び、そして今回、第 4 回目として臨床に必要なフッ化物について勉強する機会となりました。また、

今回は、先日のオンラインサロンでレクチャーをしていただいたイエテボリ大学留学中の石塚洋一さんをゲストとしてお招きしました。

筆者の医院では、特に初期う蝕の患者に歯質保存（再石灰化）療法をどのように進めていくのか、具体的な方法が決まっていなかったもので、ぜひ受講したいと思い参加しました。

まず、参加者にいくつかの簡単な質問を投げかけ、その答えを詳しく解説する流れでセミナーが始まりました。最初の質問はホームケアにおけるフッ化物歯磨剤のう蝕予防効果についてでした。世界中をみても1970年代以前の「虫歯の大洪水」からう蝕が激減した要因はフッ化物含有歯磨剤の使用という見解で一致しています。1日2回以上の適切な濃度のフッ化物含有歯磨剤を用いたブラッシングと少量のうがいのがキーポイントで、お口の中にフッ素を残すことが大切だというお話でした。

次に、乳幼児におけるフッ化物歯磨剤の使用する時期です。以前はブクブクうがいができるようになるまで歯磨剤使用は控えるべきだとの見解もありましたが、歯が萌出したら使用するべきという見解を様々な文献を通して示されました。

最後にフッ化物歯磨剤以外の商品に関して紹介があり、フッ素洗口剤、フッ化ジアンミン銀などについて、特にフッ化物パーニッシュ剤（クリンプロ™ ホワイトパーニッシュF、スリーエムジャパン）が日本でもようやく販売されたとのお話があり、映像や症例を交えてその使い方や適用法について説明されました。

まとめとして、日本におけるフッ化物の知識や使用法を海外と比較するとまだまだ問題が山積みで改善の余地があるという現状を、ゲストの石塚先生からもコメントいただきました。その後、質疑応答では多数の質問について一つひとつ丁寧にお答えいただき、盛会のうちにセミナーが終了しました。

今回の内容をスタッフと情報共有し、今後の具体的な歯質保存（再石灰化）療法を考えていきたいと思います。

第7回 2020年9月30日(水)20:00～

**歯科衛生士が浸麻してもいいって知っていましたか？
歯科衛生士の業務範囲を理解しよう！ 講師：斉藤 仁**

第7回目のWebセミナーは、斉藤仁副代表による「歯科衛生士が浸麻してもいいって知っていましたか？ 歯科衛生士の業務範囲を理解しよう！」というテーマでした。

「歯科衛生士が浸麻してもいいって知っていましたか？」ちょっと気になるタイトルです。筆者の医院では日々、歯科医師や歯科衛生士、歯科助手と協力して診療をおこなっていますが、それぞれの役職でどこまで仕事を任せていいのか悩むことがあります。多々ある診療所でルールが違うかもしれませんが、基準となる法律的にはどうなのかを勉強したいと思い参加しました。

まず、ヘルスケア歯科診療で大切な「チーム医療」をおこな

う上で、各チームメンバーすなわち歯科医師・歯科衛生士・歯科助手が各々の業務範囲を理解する必要があるのですが、それを勉強した機会があったか、という問いから始まりました。例えば学生教育（歯学部や歯科衛生士専門学校）で法律的な業務範囲を学ぶ機会があったのか？そして卒業してからも研修施設や勤務先のルールで何となくそれぞれの業務範囲を判断していたのはないか？というお話でした。そうした曖昧な歯科分野のルールに悩んでいたなかで、2014年に日本ヘルスケア歯科学会で法律に基づいて『歯科衛生士業務（診療補助）に関する業務ガイドライン』をまとめた経緯があり、その内容を解説していただきました。

その後、昭和23年の歯科衛生士法の制定から様々な改正の歴史的な経緯をお話しされ、歯科衛生士業務として①予防処置 ②診療補助 ③歯科保健指導があり、特に診療補助の項目で保健師助産師看護師法第三十一条第一項及び三十二条の規定にかかわらず、歯科医療行為の補助ができることについて解説されました。そして「医業」について厚生労働省医政局長通知の内容を説明され、歯科医師と歯科衛生士の線引きは「医業」に基づいた行為（医行為）であり、その判断は個別具体的に必要があるとのことでした。そうした中で、「医業」については絶対的医療行為と相対的医療行為があり、その線引きには司法でもグレーゾーンがあり、一つの判断基準として日本ヘルスケア歯科学会でガイドラインを規定した経緯をお話しされました。ただし、この線引きも他学会では異なるものもあるとのことでした。

なお、このガイドラインは学会ホームページで閲覧（PDFでダウンロード可）できます。詳しくはホームページのLibraryから歯科衛生士業務ガイドラインをご覧ください。詳細をお知りになりたいければ、ぜひご一読ください。

最後に講師から、歯科衛生士に積極的に浸麻をさせようという内容ではなく（さいとう歯科でも歯科衛生士に浸麻をさせていない）歯科衛生士の業務範囲が法律的にどこまで許容されるのかを理解していただければ、というまとめでセミナーが終了しました。

第8回 2020年10月7日(水)20:00～

**カリスママネジメントの基本 臨床例から学ぶ Part 2
講師：杉山精一**

第8回目のWebセミナーは、杉山精一代表による「カリスママネジメントの基本 臨床例から学ぶ Part 2」というテーマでおこなわれました。カリスママネジメントセミナーに関しては過去に4回の講演があり、第5回は臨床例から学ぶ Part 2として主に咬合面う蝕についてのレクチャーでした。

筆者の医院では頻繁に小児の患者が学校健診でう蝕ありにチェックされた紙を持参して来院されます。口腔内を診査すると6番

の咬合面の着色の場合が多くあり、その時にどのように対応すればよいか悩んでいました。また咬合面裂溝の着色かう蝕で悩むケースもあり、今回のセミナーをぜひ聞いてみたいと思いました。

はじめに、6番の咬合面の写真で切削するか参加者に尋ねたところで、咬合面う蝕の診断についてのお話がありました。咬合面の着色を安易に切削するリスクを症例も交えて説明され、カリエスマネジメントの目的は健全歯質の保存ということを強調されました。そして診断には視診だけではなく、エックス線も必須で、ダイアグノカムの解説もありました。

その後、咬合面の口腔内規格写真について説明がありました。特にその撮影法について動画を用いて解説があったことが良かったです。また患者の説明に咬合面着色の経時的な記録をみせ

ることも有効だというお話でした。

その後、多くの症例を提示され、カリエスコントロールが簡単なものから難しかったケース、またシーラントの対応、歯肉縁下のう蝕についてなど、実際の臨床例による解説をいただき、明日からの診療に大変参考になりました。

最後に、咬合面の着色＝う蝕ではなく、エックス線写真による診査、特に Hidden caries に注意すること、咬合面の口腔内規格写真で経年的な変化を診て行くことの重要性を話され、その後多くの質疑応答があり、盛会の裡に終了となりました。

Webセミナー受講者はその内容をアーカイブ配信（オンデマンド）で聴講ができるので、ぜひ筆者の医院でも後日スタッフと一緒に勉強したいと思う内容でした。



Healthcare bibliography



雑誌掲載

- ちいさなおくちじまん
上田康弘
nico 10月号 p.6-7 クインテッセンス出版
- 予防の常識・非常識
藤木省三
nico 9月号、10月号 p.60-61 クインテッセンス出版
- 海外レポート
The 67th Congress of the European Organisation for Caries Research
Web開催でも発表することの意義を感じることができた3日間
杉山精一
ザ・クインテッセンス 10月号 p.222-223 クインテッセンス出版
- 院内でスマートに身をこなす
コミュニケーションのヒント① 自分を認めることから始めよう
年名淳
DHstyle 9月号 p.90-93 デンタルダイヤモンド社
- 院内でスマートに身をこなす
コミュニケーションのヒント② 院長とのかかわり
“違い”を理解する
年名淳
DHstyle 10月号 p.94-97 デンタルダイヤモンド社

- Special topic
セルフコーチング 毎日を“もっと”ごきげんにする方法
井上和
DHstyle 10月号 p.78-86 デンタルダイヤモンド社
- レポート 日本ヘルスケア歯科学会がWebセミナー・オンラインサロンを開催
杉山精一
デンタルダイヤモンド 9月号 p.126 デンタルダイヤモンド社
- この道30年 専門家が教える誠のスタッフ教育
「傾聴ってどういうこと？」という話
井上和
デンタルダイヤモンド 10月号 p.154-155
デンタルダイヤモンド社
- 臨床の視点から 隣接面う蝕の診断と治療介入
丸山俊正
日本歯科評論 10月号 p.83-94 ヒョーロン・パブリッシャーズ
- 接着・機能性材料を活用した歯髄保護
断髄一完成歯の不可逆性歯髄炎に対する新しい治療オプション
泉英之
日本歯科評論増刊 2020 p.96-107 ヒョーロン・パブリッシャーズ

新入会者数

2020年度の新入会者数

| | 2019年 | | | 2020年 | | | | | | | | | 合計 |
|-------|-------|-----|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
| 歯科医師 | 3 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 3 | 2 | 0 | 3 | 16 |
| 歯科衛生士 | 6 | 0 | 0 | 10 | 4 | 2 | 0 | 1 | 3 | 2 | 2 | 3 | 33 |
| 学生 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | 9 | 0 | 0 | 12 | 6 | 2 | 2 | 1 | 6 | 4 | 2 | 6 | 50 |

新入会者紹介

松田充博（歯科医師）

熊本県で歯科矯正専門の医院を営んでおります。すでに何度か研修会に参加させて頂いておりますが、その度に新鮮な驚きがあり、患者さん本位で臨床に対する真摯な姿勢に感銘を受けました。一般歯科医院とは少し違った視点で、お役人立てる事があればと思っております。よろしくご挨拶致します。

書評

デンタルプラークのすべて

著者：奥田克爾

出版：医歯薬出版

2020年8月

定価：7,700円（税別）

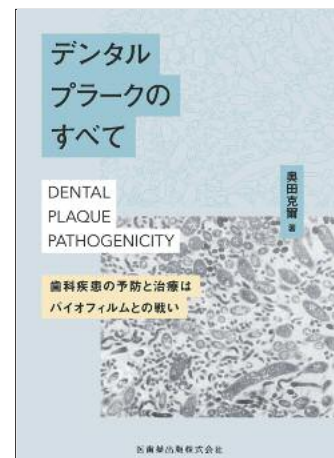
もし著者である奥田克爾先生を知っておられるなら、そのとても熱く、心遣いの素晴らしいお人柄をご存知かと思えます。しかしながら、面識のない方にも77歳になられる2020年の今も高温のままである先生の情熱が、本書から十分感じていただけるはずです。

この時代、ネットで検索をするだけで容易に膨大な量の情報が手に入ります

が、そのなかには信頼性の乏しい情報も多々存在します。本来なら、自分が求める情報について根拠を明らかにし、正しいことを確認したうえで歯科臨床の場で応用すべきです。そう頭では分かっているながらも、手軽で安易な手法へ流れてしまい戸惑う私たち（私だけ？）がいるのも事実です。そんな状況を先生は苦々しく思っておられるのだと感じます。

内容としては、細菌の基礎からバイオフィルム、マイクロバイームあるいはデンタルプラークと全身疾患、そして新型コロナウイルス感染症まで、さまざまなトピックスがきちんとした根拠に基づいて述べられています。日頃の自分の怠惰な様子を覗かれていたようで、思わず姿勢を正し、深々とお辞儀をしてみました（笑）。

本書の「はしがき」に拠ると、1993年『デンタルプラーク細菌の世界』、2011年『デンタルバイオフィルム～恐怖のキラ軍団との戦い』に続く書籍で



あり、発行のきっかけは「私たちに住み着く細菌と私たちは、バトルをするだけではなく共生することも大切である」と理解する大きな潮流が起きているからだと思います。

『デンタルプラーク』に関して現時点で明らかになっていることが網羅されていますので、大変役立つ1冊です。本学会会員にはぜひ手にとっていただきたいと思います。

（足本 敦・米子市開業）



文献ベースで歯科臨床の疑問に答える

チェアサイド Q&A 予防歯科編 Part1

著者：於保孝彦 監著

予防歯科臨床教育協議会 編

出版：クインテッセンス出版

2018年12月

定価：3,500円（税別）

来院者にとってのお口の良き教育者になれる本

皆さんは来院者と接するなかで、出てくる質問・疑問にどう答え、どう解決していますか？

人から聞いた事をそのままお伝えしていませんか？

我々が「来院者にとってのお口の良き教育者」になるためには、あの人が言っていたから…ではダメで、根拠が必要となるけれど、日々忙しいなか、ゼロから調べるのはとても大変。

この本は、予防医療を提案する僕らが困らないよう、一つの質問に対し、文献の要約も含め、たった2ページにわかりやすく、まとめてくれています。

勿論そこから文献を紐解いて吟味する必要はありますが、検索するよい取っ掛かりになってくれます。

新人さんには、「へ～、なるほど！」が詰まっていますし、ベテランさんは自分が今までお伝えしてきた事が間違っ



いなかったかどうか、答え合わせをしてみても？

日々遭遇する「？」にエビデンスをベースとして答えられる自分を想像してみましょう。

（高野圭介・練馬区開業）

会員へのメッセージ

オンラインのススメ



林 浩司 (真岡市開業)

新型コロナウイルス感染症の影響は我が国だけではなく、世界的にみても凄まじいものがあります。日本ヘルスケア歯科学会でも、3月以降の感染拡大に対応してすべてのセミナー・ミーティングが中止となり、学会としての活動は自粛ムードとなってしまいました。しかし、学会の存続について危惧したコアメンバーの高橋 啓さん、渡辺 勝さんを中心に Web を活用したオンラインの催し物を次々に企画し、何とかコロナ禍のなかでも会員が学会と関われる機会を考えてきました。

ところでみなさんお気づきかもしれませんが、私はニュースレター編集代表の立場としてすべての Web セミナー、サロンに参加し報告記事を執筆しています。みなさんのなかには、なかなかオンラインはハードルが高いな、時間があまりないし、仕事の後で疲れたし… と思うかもしれませんが、毎回参加してみてオンラインの良いところが多くあることに気づきました。今回はその良い点について報告します。

① 自宅に居ながらいろいろな人と繋がる

コロナ禍以前はセミナー、ミーティングがあれば東京や大阪に行っていました。栃木県の田舎に住んでいる者としては、かなりの移動時間(宿泊交通費も含めて)がありました。それがオンラインでは、自宅に居ながら北海道から九州までの会員が顔を合わせてお話しでき、一緒にセミナーも受講できます。なんとスウェーデン・イエテボリ大学に留学中の先生のセミナーをオンタイムで聞くこともできます。またサロンでは、普段会えなかった会員

同士で「お久しぶりです～」という声も多く聞きました。もちろん歯科衛生士や助手といったスタッフの方も大歓迎ですので、機会があればぜひみなさんとお会いしましょう。

② 症例写真のクリアさに驚かされる、講師との質疑応答も簡単

今までセミナー会場では、座る場所によりスライドや講師の顔が見えなかったりしました。オンラインでは驚くほどクリアにスライドがみえますし、講師の顔も見えます。

また講演後の質疑応答の時間ですが、広い会場で手をあげて発言するという勇気のいるハードルはまったくありません。オンラインでは文章で質問する形式ですが、聞きたいことは簡単に入力できます。毎回 Web セミナーでは 10 件以上の忌憚のない質問がありました。

③ アーカイブ配信により、院内スタッフとの共有や復習ができる

杉山精一代表によるリエスマネジメントのコースは毎回、本当に勉強になりました。しかし、この内容は実際にリエスマネジメントをおこなうスタッフにきいてもらわなければ意味がありません。その点、Web セミナー受講者には後日おなじ内容を YouTube で視聴できるシステムがあり(アーカイブ配信、期間限定)、いつでも繰り返し内容をみることができます。当院では、院内ミーティングや空き時間にスタッフにみってもらう事で知識を共有することができました。コロナ禍以前は、一緒に都心まで移動し受講していたことが、今や院内でいつでもシェアできます。

あの緊急事態宣言から半年が経ちました。そろそろみなさんも落ち着いて日常を暮らしていると思います。そんな日々によっとした知識や刺激を得ませんか?

今までのような学会やセミナーのように実際に集まれる機会



学会ホームページ右側のバナーをクリック→「web セミナー」または「オンラインサロン」をクリック

ここをクリックすると Zoom でオンラインセミナーに参加する方法を説明しています。ご参照ください。



Webセミナー

ヘルスケア Web セミナー
Health Care Video Webinar

新型コロナウイルス感染症による社会的不安定に対応すべく、日本ヘルスケア歯科学会では、いちはら製薬製薬を協賛して、その一環として、日本ヘルスケア歯科学会会報に掲載されるWebセミナーを無料でご覧いただけます。Webセミナーは、パネリストによる講義形式のWebセミナーです。参加費3,000円、税別2,900円

※登録：申込みメールが [no-reply@room.us] というアドレスから届きます。「Zoom」のドメインが迷惑メールのフィルターからかからないように、設定をお願いします。「Zoom」からの自動配信メールですので、このメールには返信できません。

受講特典：受講セミナーのアーカイブを1か月限定視聴 (YouTube)

7月から予定期間9:00~12:00 (1時間限定) (2週間限定) (ご留意ください。)

Webセミナー開催方法：Zoom
講師メール配信方法：Zoom

2020年 Webセミナー日程

| No. | 日 | パネリスト | タイトル (クリックで詳細ページへ) |
|-----|------------|-------|---|
| 10 | 2020/10/14 | 田中正大 | ヘルスケア業界の最新トレンドと今後の展望 失敗に学ぶ (1) (外部発表) |
| 11 | 2020/10/21 | 石塚洋一 | 臨床家のためのフッ化物応用 (1) (外部発表) |
| 12 | 2020/10/25 | 杉山精一 | 病院でCRASPを実践しよう (1) (外部発表) |
| 13 | 2020/10/28 | 斉藤 仁 | 「ニコチンのせいだけじゃないの?」 依存症について学び、禁煙支援に 応用しよう! (1) (外部発表) |

参加するタイトルをクリック

10月28日 (水) 午後8時~ (9:50分) 定額2,900円
Webセミナー (3,000円)

「ニコチンのせいだけじゃないの?」
依存症について学び、禁煙支援
に応用しよう!

パネリスト 斉藤 仁 (理事)

講演内容

禁煙支援を行っていく際の課題は多いと思いますが、現場の先生からは「どうアプローチすればいいかわからない」「禁煙薬が難しい」という声がよく聞かれます。禁煙外来を駆使して一時的に禁煙が成功しても再びその喫煙習慣に戻ってしまうのはどうしてでしょうか。禁煙支援を行うには依存症についての知識が必要です。依存症の脳内メカニズムを理解して、禁煙支援のあり方について考えていきましょう。

※参加費は、登録番号をご入力の上、下の申込みフォームからお申し込みください。申し込みはPayPal (paypal: オンライン決済システム) の決済が必要となります。お申し込みメールにてWebセミナーのお振込先をお送りします (届かない方は事務局までご連絡をお願いします)。当日まで申込み可能です。

※登録後、申込みメールが [no-reply@room.us] というアドレスから届きます。「@room.us」のドメインが迷惑メールのフィルターにかからないように、設定をお願いします。「Zoom」からの自動配信メールですので、このメールには返信できません。

参加申込みはここから

お申し込みはこちら
10/18 17時より受付開始

がいつになるのかはまだまだ見通しが立ちませんが、今後オンラインは大変有効だと思います。

ぜひ、気軽にオンラインを楽しみませんか?

オンライン参加してみたいけど…

なんか難しそう…

基本的にパソコンとメールアドレスがあれば、簡単に参加できます (パソコンがない方はiPadやiPhone・スマートフォンでも大丈夫です)。日本ヘルスケア歯科学会のホームページのヘルスケアオンラインサロンもしくはWebセミナーの青枠をクリックすると各講師とタイトルが出ます。参加したいタイトルをクリックし、申込みフォームに入り、サインすれば折り返し案内メールが届きます。ただし、有料セミナーはPayPalの登録が必要になります。分からないことがあれば事務局に問い合わせてください。

いつどんな内容でやっているの?

今後予定している内容は、先程紹介した日本ヘルスケア歯科学会のホームページで随時公開しています。またTwitterやfacebook, LINEでも情報を届けています。

NEW!

LINE

Facebook

Twitter

ウェビナー告知板

ウェビナーの参加は会員に限り、参加希望される方は学会ホームページよりお申し込みください。お申込み後、自動で申込完了メールが届きます。Zoom ミーティングの URL が記載されていますので、こちらからご参加ください。もしメールが届かない場合は、事務局までお問い合わせください。

※12月より20:30より開始。11月までは20:00より開始

- Web セミナー (参加費: 3,000 円)
- 11回 2020年10月21日 (水) パネリスト: 石塚洋一 (外部講師)
臨床家のためのフッ化物応用
- 12回 2020年10月25日 (日)* パネリスト: 杉山精一
病院でCRASPを実践しよう
- 13回 2020年10月28日 (水) パネリスト: 斉藤仁
「ニコチンのせいだけじゃないの?」依存症について学び、禁煙支援に
応用しよう!
- 14回 2020年11月25日 (水) パネリスト: 斉藤仁
- 15回 2020年12月9日 (水) パネリスト: 杉山精一
カリエスマネジメントセミナー⑥
- 9回 2020年12月20日 (日)* パネリスト: 渡辺勝
ヘルスケア型診療における感染管理対策セミナー (滅菌セミナー)
10月11日延期分
- 16回 2020年12月23日 (水) パネリスト: 斉藤仁
* 医院参加型 (スタッフ参加型) 9:00 ~ 12:00 (参加費 9,000 円)

- オンラインサロン (参加費無料 要 事前登録) 毎週火曜日
- 14回 2020年10月27日 ホスト: 杉山精一
情報と資料整理どうしていますか?
- 15回 2020年11月10日 ホスト: 斉藤仁
マイク口の部屋へようこそ!
- 16回 2020年11月17日 ホスト: 秋元秀俊
医療における情報の非対称性;ヘルスケア診療の原理=情報共有
の序論として
- 17回 2020年11月24日 ホスト: 田中正大
デンタルX もっと活用したい!
- 18回 2020年12月1日 ホスト: 岡本昌樹
- 19回 2020年12月8日 ホスト: 千草隆治
- 20回 2020年12月15日 ホスト: 高橋啓
- 21回 2020年12月22日 ホスト: 丸山和久

※ウェビナーの参加費をヘルス通貨 (日本ヘルスケア歯科学会内互助通貨) と交換にて後日返金することが可能です。申込はPayPal 支払いでの登録が必要となっておりますので、申込後にヘルス通貨使用の旨を事務局にメールまたはFAXにてお知らせください。お持ちのヘルス通貨を確認後、返金手続きといたします (返金手数料は事務局負担)。

Webセミナー 1セミナー: 5ヘルス

オンラインサロン



ヘルスケア フォーラム

フォローアップセミナー 開催報告

2020年9月13日 16:00～ Zoom オンライン



林 浩司 (真岡市開業)

フォローアップセミナーは、3年前の2017年に大阪で開催された合宿型の実践セミナーの受講生(第2期生)が、その後どのようにヘルスケア診療に取り組んでいるのか報告する機会として、関東地方の受講生を中心に開催しています。2018、2019年と年一回集まり、今回で3回目となります。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、zoomを利用したオンライン形式となりましたが2期生、3期生以降の受講生、数名のコアメンバーとそのスタッフも入り、30名以上の参加者で開催されました。筆者は実践セミナーを受講した方がどのように成長しているか興味があり参加しました。

プログラムは13時から杉山修平さん、丸山修平さん、田幡 壮さん、田中勝幸

さんの順番で1人20分、質疑応答5分の持ち時間で「実践セミナーから3年・ヘルスケアと向き合って」というテーマで発表されました。その後、基調講演として渡辺 勝さんからカリオロジーのお話をいただきました。

杉山さんは、お父さんの診療所に常勤勤務となりヘルスケア診療をもっと深く理解したいと思い実践セミナーを受講してから3年が経ち、改めてヘルスケア診療のいいところを報告しました。

丸山さんも、同じくお父さんの診療所に常勤勤務となって実践セミナーを受講し、新たに取り組まれたことを報告しました。二人の修平さんは新規開業とは違い既存の診療スタイルと院長・スタッフとの関係のなかで、勤務医ができることをコツコツ始めた取り組みは(参加者のなかには同じような勤務医も参加していたので)参考になったと思います。

田幡さんは7年前に開業してから4年

後、渡辺さんに出会いヘルスケア診療に興味を持ち実践セミナーを受講しました。その後、新たな取り組みと課題をどのように克服したのか報告しました。特にSOAPで記録するサブカルテの使い方については、渡辺さんも大変感服されていました。

田中さんは、長年ヘルスケア歯科学会の会員でしたが、3年前の実践セミナーを受講したきっかけに認証診療所を目指し様々な取り組みを行いました。そして、今年の認証ミーティングにエントリーしていたのですが、残念なことに延期となってしまう、そのような経緯で今回は、当日発表するプレゼンテーションの予演会でしたが、恐らく見事合格できるレベルと思われる内容でした。

その後、渡辺さんから自身の診療所で取り組んでいるカリオロジーのレクチャーがありました。初期う蝕とう窩の連続性の病変のなかで我々がどのように介入できるのか、また乳幼児の時期から生活習慣、家族を含めた口腔衛生指導を始める「赤ちゃん歯科」のお話などのお話がありました。講演後、参加者から多くの質疑応答があり予定時間を大幅に過ぎてしまいましたが、その後の懇親会では同じヘルスケア歯科学会会員ならではの忌憚のない会話を楽しみ盛会のうちに終了となりました。

末筆になりますが、今回は実践セミナーを受講した4名の報告を発表し、それぞれ工夫しながらヘルスケア診療に取り組む成長されている姿を見て、今まで実践セミナーを運営してきた方々がご覧になったら大変喜ぶだろうと想像しながら聴講しました。また、実践セミナーを受講した方が、次の目標として認証診療所を目指していただければ幸いです。



ヘルスケアミーティング 2020

2020年11月22日
12:30 ~ 15:30

会場

KFC Hall & Rooms
Room 115 (両国)ZOOM Webinar
(オンライン)特別シンポジウム
歯周病の新分類

新型コロナウイルス感染症禍と今後の展望 杉山精一

進行の早い歯周炎に遭遇することがあります。早期に発見して治療、メンテナンスできればと思いますが、原因はよくわかっていません。新分類では、侵襲性歯周炎という名称がなくなってしまいました。今後、どのように考えて対応すればいいのでしょうか。歯周病研究の現状を整理して理解し、最新の研究成果を勉強する機会としましょう。

講演 1 : 歯周病新分類の臨床的意義

関野 愉

日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座 准教授



近年、歯周病の国際分類から急速破壊性(侵襲型)歯周炎がなくなり、StageとGradeによる分類が適用されるようになってきている。その背景には、現在までに積み重ねられてきた研究において、病態生理学的に慢性歯周炎との間に違いがあると言える根拠が十分になかったことが挙げられる。また、それ特有の治療法のプロトコールが確立されなかったことも関係している。しかし、「違いがあるとえる根拠がない」ことは「同じである」と同義語ではない。言い換えれば「完全に異なる疾患である」という根拠もない」とも受け取れる。

日常的に遭遇する典型的な歯周炎とは明らかに異なった特徴を持つ患者の存在は多くの臨床医が経験しているところであり、おそらくGrade Cの条件の一つである「バイオフィルムの沈着量から予測されるよりも重度な組織破壊」の部分に集約されている。これが今後どのように解釈されていくのか、注目していきたい。また、この新分類に関して、疑問点も多々あり、日々議論が繰り返されている。そんな中で、現在ヨーロッパ歯周病学会(EFP)では、各種の歯周治療の現在までのエビデンスがポジションペーパーとしてまとめられ、新分類に対応した治療法のガイドラインが制作されているところであり、この解説も含めて新分類の意義について論じていきたい。

「侵襲性」はどこへ行つた？

講演 2 : 新分類のグレードを分ける
バイオマーカーを探る

久保庭 雅恵

大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座
予防歯科学分野 准教授

メタボローム解析は、既知の情報からは想定できなかったことを、代謝産物のレベルで網羅的に探索する手法であり、疾病の診断や重症度評価に直結する新規バイオマーカーを探索する上で、現在望みうる最高の解析手法の一つである。

我々が研究対象としている歯周病では、歯周組織と、そこに近接して存在する歯肉縁下細菌叢よりなる歯肉縁下生物共同体(コンソーシアム)において、疾患重篤度の変化に伴う酵素活性の変動が起こり、歯周病特有の代謝物のパターン(メタボロームプロファイル)へと変化し、それが唾液や血液にも反映することが予想される。そこで、歯周病の病態を定量的に表現し得るPeriodontal Inflamed Surface Area(PISA)を目的変数とし、唾液を試料としたメタボロミクスを実施することにより、歯周病に由来する炎症の予測モデルの構築を試みた。その結果、歯周病患者のバイオフィルム中ではポリアミン代謝経路が活性化し、カダベリンやプトレッシンなど複数のポリアミン類が高頻度にバイオフィルムから唾液中へと放出されていることが明らかとなった。

本シンポジウムでは、我々の研究グループによるメタボロミクス研究のみならず、ゲノミクス、プロテオミクスも含めたオミクス研究全般について概説し、歯周病の進行に関わる因子に関する最新の知見をご紹介させていただく。

ヘルスケアミーティング 2020

特別シンポジウム

歯周病の新分類；「侵襲性」はどこへ行った？

2020年11月22日(日) 12:30～15:30

会場が変更になりました

KFC Hall & Rooms 11F Room115 (東京・両国) および オンライン (Zoom ウェビナー)

東京都墨田区横網 1-6-1 国際ファッションセンタービル (<https://www.tokyo-kfc.co.jp/>)

新型コロナウイルス感染症拡大のため、ヘルスケアミーティング 2020 は、2 日間のプログラムを大幅に縮小して半日のプログラムとし、主にオンライン (Zoom) での開催とします。会場は、3 密を避けて定員を大幅に減らして 40 人定員とします。なお、講演 1 の関野 愉先生と問題提起の杉山精一代表は、両国の会場で講演します。

☆ プログラム

- 12:30 オープニング (オンライン参加者への説明など)
- 12:35 新型コロナウイルス感染症禍と今後の展望 杉山 精一 (日本ヘルスケア歯科学会 代表)
- 12:50 問題提起 歯周病の新分類—どう変わる? どう活かす? 杉山 精一
進行の早い歯周炎に遭遇することがあります。早期に発見して治療、メンテナンスできればと思いますが、原因はよくわかっていません。新分類では、侵襲性歯周炎という名称がなくなりました。今後、どのように考えて対応すればいいのでしょうか。歯周病研究の現状を整理して理解し、最新の研究成果を勉強する機会としましょう。
- 13:05 講演 1 歯周病の新分類の臨床的意義 関野 愉 (日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座 准教授)
新分類で、侵襲性歯周炎という名称がなくなった背景と、新分類の考え方と臨床的な活かし方について解説していただきます。
- 13:55 休憩
- 14:05 講演 2 新分類のグレードを分けるバイオマーカーを探る 久保庭 雅恵 (大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座 准教授)
歯周病の進行に関わる因子についての最新の研究ゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクスとは何かを概説し、歯周病の進行に関わる因子に関する主要な研究成果を紹介していただきます。
- 15:00 質疑 (オンライン参加含む)
- 15:30 終了



☆ 参加費

オンライン参加費 5,000 円 / 1 アカウント

会場参加費 5,000 円 / 1 名 (定員 40 名)

※オンラインでの視聴 (Q&A あり) は個人参加も診療所内や複数の診療所が集まって参加する場合も 1 アカウント同額です。複数視聴は何人でも構いません。

※会場参加の場合はヘルス (学会通貨) での支払い可能。歯科医師 20 ヘルス スタッフ 10 ヘルス 希望される場合は事務局までお問い合わせください。

☆ お知らせ・ご注意

会場が変更になりました。ご注意ください。

参加は会員及び会員診療所スタッフに限ります。

託児サービスはありません。

会場参加は定員 (40 名) になり次第締め切ります。

受付開始 10 月 19 日 10 時より

オンライン参加は学会ホームページよりお申し込みください (メール・FAX ではできません)。

※ YouTube で同時配信あり。アーカイブ (オンデマンド) 配信はありません。



会場参加申し込み Fax. 03-3260-4906

参加を申し込みます (news23-4)

ヘルスケアミーティング 2020 会場参加 申込み (会員専用)

(必要項目で記入、該当欄に✓印を記入ください)

| | | | | | |
|----------|--|----------|--|------|---|
| フリガナ | 会員番号: | フリガナ | 会員番号: | | |
| ご氏名 | <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他 | ご氏名 | <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他 | | |
| フリガナ | 会員番号: | フリガナ | 会員番号: | | |
| ご氏名 | <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他 | ご氏名 | <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他 | | |
| 勤務先・診療所名 | | 参加申し込み人数 | 人 | 合計金額 | 円 |
| 住所 〒 | - | 電話番号 | - | - | |
| | | FAX 番号 | - | - | |
| e-mail | | | | | |